

特別調査「2023年（令和5年）の経営見通し」

問1. 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	0.0	2.9	12.9	46.2	33.9	4.1
合計件数	0	0	5	22	79	58	7
製造	0	0	0	7	19	9	0
卸売	0	0	2	1	3	1	1
小売	0	0	2	6	25	18	4
サービス	0	0	0	4	13	12	1
建設	0	0	1	4	19	18	1

* 2023年の日本の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が2.9%（前回8.8%）。「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が84.2%（同67.8%）となった。この結果、「良い」－「悪い」は△81.3%（同△59.0%）と、1年前の調査と比べ、22.3ポイントの低下となった。業種別では、製造業△80.0%（前回△48.6%）、卸売業△37.5%（同△12.5%）、小売業△81.9%（同△74.5%）、サービス業△86.6%（同△53.3%）、建設業△86.1%（同△60.6%）となり、全業種で、2023年の景気は低下すると見通しとなった。

問2. 貴社では、2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	1.2	5.8	28.7	42.7	18.1	3.5
合計件数	0	2	10	49	73	31	6
製造	0	0	2	12	16	5	0
卸売	0	0	1	3	2	1	1
小売	0	1	1	13	24	12	4
サービス	0	1	3	10	9	7	0
建設	0	0	3	11	22	6	1

* 2023年の自社の業況見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が7.0%（前回7.1%）。「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が64.3%（同56.7%）となった。この結果、「良い」－「悪い」は△57.3%（同△49.6%）と、1年前の調査と比べ、7.7ポイントの低下となった。業種別では、製造業△54.3%（前回△25.7%）、卸売業△37.5%（同△62.5%）、小売業△69.1%（同△70.9%）、サービス業△40.0%（同△40.1%）、建設業△60.5%（同△46.6%）となり、卸売業は改善、サービス業は横這いとなったが、他の業種の業況は低下の見通しとなった。

問3. 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 30%以上の増加 2. 20~29%の増加 3. 10~19%の増加 4. 10%未満の増加 5. 変わらない 6. 10%未満の減少
7. 10~19%の減少 8. 20~29%の減少 9. 30%以上の減少

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
合計(構成比)	0.6	0.6	5.2	9.9	40.9	32.2	8.2	1.8	0.6
合計件数	1	1	9	17	70	55	14	3	1
製造	0	0	4	5	13	10	2	1	0
卸売	0	0	1	0	4	2	1	0	0
小売	1	1	2	4	23	20	3	1	0
サービス	0	0	0	6	12	11	1	0	0
建設	0	0	2	2	18	12	7	1	1

* 2023年の自社の売上額見通し(伸び率)は、「増加」が16.3%(前回18.1%)、「減少」が42.8%(同44.4%)となった。この結果、「増加」-「減少」は△26.5%(同△26.3%)と、1年前の調査と比べ、0.2ポイント低下した。業種別では、製造業△11.5%(前回△20.0%)、卸売業△25.0%(同0.0%)、小売業△29.2%(同△34.6%)、サービス業△20.0%(同△23.3%)、建設業△39.4%(同△28.0%)となり、2023年の売上額見通し(伸び率)は、製造業、小売業、サービス業は上昇し、卸売業、建設業は低下している。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. すでに上向いている 2. 6か月以内 3. 1年後 4. 2年後 5. 3年後 6. 3年超 7. 業況改善の見通しは立たない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	3.5	7.0	9.4	8.8	7.6	7.6	56.1
合計件数	6	12	16	15	13	13	96
製造	1	1	5	5	3	5	15
卸売	0	0	1	0	1	2	4
小売	1	6	3	3	3	5	34
サービス	3	2	5	2	1	0	17
建設	1	3	2	5	5	1	26

* 自社の業況が上向き転換点については、「1年後」が9.4%(前回15.8%)と最も高く、次に「2年後」が8.8%(同12.3%)、「3年後」・「3年超」が7.6%(同9.9%・4.1%)、「6か月以内」が7.0%(同4.7%)、「すでに上向いている」が3.5%(同6.4%)と続いた。前回調査と比べると、「すでに上向いている」が2.9ポイント、「6か月以内」が2.3ポイント、「1年後」が6.4ポイント、「2年後」が3.5ポイント、「3年後」が2.3ポイント下降し、「3年超」が3.5ポイント上昇している。一方、「業況改善の見通しは立たない」と回答する割合は56.1%で、1年前の調査(46.8%)と比べ、9.3ポイント上昇し、「業況改善の見通しは立たない」とする企業割合は増加している。

問5. 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。最も当てはまるものを1~0から3つ以内で選んでお答えください。

1. 原材料・仕入価格のさらなる高騰 2. 原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰 3. コロナなど感染症の感染再拡大
4. ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化 5. 台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害 6. 取引先廃業等による売上げ激減 7. 経営者や従業員の健康問題 8. コロナ融資の返済 9. 円安・インフレの加速 0. その他

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	81.3	42.7	31.6	8.8	6.4	10.5	13.5	5.3	24.0	2.3
合計件数	139	73	54	15	11	18	23	9	41	4
製造	29	21	7	2	4	3	4	5	8	0
卸売	6	4	3	2	1	1	0	2	2	0
小売	45	17	23	7	3	8	7	2	12	1
サービス	26	12	14	0	2	5	3	0	4	0
建設	33	19	7	4	1	1	9	0	15	3

* 2023年の自社にとっての経営リスクについては、「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が81.3%と最も多かった。次に多かったのは「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」42.7%となっており、仕入価格のさらなる高騰を警戒する企業が多くなっている。なお、「コロナなど感染症の感染再拡大」は31.6%となった。「コロナ融資の返済」は5.3%にとどまっている。

調査員のコメントから～

- デパート等からの昆布の注文は、例年並みまで回復してきた。(製造業)
- 観光客(観光バス)の客が増加している。新商品も売上好調。(製造業)
- 地元の秋サケの水揚げ少なく、一部日本海方面から仕入れを行っている。(製造業)
- 取引先が減少し、売上・収益ともに減少傾向。販路拡大が課題となっている。(卸売業)
- 中国のゼロコロナ政策により工場の稼働が安定せず、輸入品の納期が延びている。(卸売業)
- 小売店からの注文減少。商店街活性化に向け取組み図っているが見通しは立たない。(卸売業)
- 資材の高騰で、リフォームを断念する方が増えてきた。(建設業)
- 業界に若い世代が少なく、今後の技術力に悩んでいる。(建設業)
- 忙しい状況は数年続くとみている。人材確保、働き方の改善に取り組んでいく。(建設業)
- 個人消費は、電気、燃料、食料品等の値上げから、節約意識が高まっている。(小売業)
- 商店街の人通りは少なく、来店客も減少。出前注文も減少している。(小売業)
- 町外客は減少しているが、コロナの影響で遠出を控えた町内客が増加した。(小売業)
- 中古車の需要が高くなり、販売台数は増加している。(サービス業)
- 車輛販売・リースともに順調。中古車の人気が高く、価格も上がっている。(サービス業)
- タイヤ交換の際、中古タイヤを購入する人が増加している。(サービス業)